

『無菌調剤室』
管理区域
Controlled area

このセミナーで獲得できる知見

Point1

医療機関へ無菌製剤を含む
在宅対応をPRする方法。

Point2

無菌調製に必要な知識や技術の習得の方法。
注意点、学会、研究会など。

Point3

「地域包括ケアシステム」において今後薬局が
すべきこと、無菌調剤の必要性。



在宅無菌調剤トップランナー onlineセミナー

限定100名
受講料無料
8月23日17時締切

「モノからヒトへ、そして地域へ」

～薬局が地域に関わるこれからのコト～

講師 けや木薬局 白石 丈也先生 からのメッセージ

令和6年度診療報酬改定では在宅医療に関する点数が高く評価されました。特に在宅薬学総合体制加算2においては要件のひとつに、がん末期などターミナルケア患者に対する体制として、無菌調剤設備を有することが明記されました。しかし高額な設備投資を行ってもどのように運用していけばよいのか悩んでいる開設者、薬剤師の先生方も多いのではないのでしょうか。実際、他の職種にとっては無菌調剤設備がどのようなものなのか、設備があることでどのようなことが出来るのか、理解されていないこともあります。無菌調剤を必要とする症例とマッチングが出来てはじめて理解して貰え、次の相談に繋がっていくというのが実際のところだと思います。そのため、自分達の地域で、どのような在宅医療の課題があるのかを知り手を打っていく必要があります。本セミナーでは、開設者であり在宅医療の現場に身を置く薬剤師として、どのような点に工夫をしているのか、ご参加のみなさまと情報共有をさせていただきながら、地域へのかかわり方を一緒に考える時間にしたいと思っております。

【御略歴】

有限会社メディックス白石 代表取締役。2006年、無菌調剤設備を有する「けや木薬局」を福島県福島市に開業。管理薬剤師として勤務。年間約60-70名の新規在宅患者さんを受け入れ、その大半が在宅緩和ケア。2022年より地域薬剤師会会長(福島市)を務める。

申し込み

お問い合わせ・受講申込みはホームページよりお願い致します。
締切:8月23日(金)17時、定員を越えた時点で終了となります。
お申込みページはこちらをクリック、又は検索かQRコードから

日科ミクロン在宅

検索

